

都内で麻しんの報告が続いています

麻しんは空気感染が主たる感染経路ですが、飛沫感染、接触感染もあります。感染力は極めて強く麻しんに対する免疫を持っていない人が、感染している人に接すると、ほぼ 100%の人が感染し、全て発症します。典型的には約 10～12 日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及び風邪症状が 2～4 日続き、その後 39℃以上の高熱とともに発しんが出現します。有効な予防法は、麻しんワクチンの接種です。麻しんの定期予防接種をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

【全数把握対象疾患】

| 類型 | 報告件数 | 備考 |
|--------|----------------|-------------|
| 1 類感染症 | 0 件 | |
| 2 類感染症 | 0 件 | |
| 3 類感染症 | 0 件 | |
| 4 類感染症 | A 型肝炎 1 件 | 20 代 女性 1 名 |
| 5 類感染症 | 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 | 80 代 男性 1 名 |
| | 多剤耐性緑膿菌感染症 1 件 | 80 代 女性 1 名 |
| | 麻しん 1 件 | 20 代 男性 1 名 |

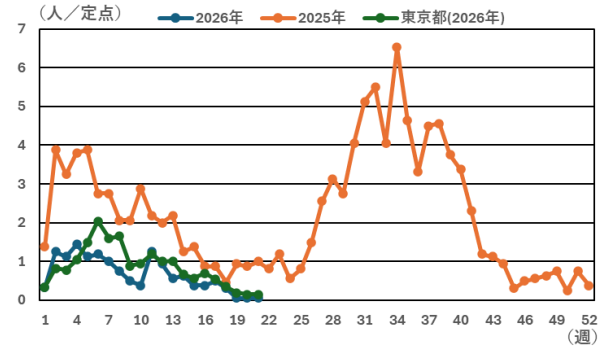
【定点把握対象疾患】

| 感染症 | 板橋区 | 東京都 |
|----------------|--|---|
| A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 定点当たり報告数 1.40 (前週 0.90 前年同週 1.00) | 定点当たり報告数 2.00 (前週 1.65 前年同週 3.77) |
| インフルエンザ | 定点当たり報告数 0.00 (前週 0.00 前年同週 0.06) | 定点当たり報告数 0.06 (前週 0.08 前年同週 0.32) |
| 新型コロナウイルス感染症 | 定点当たり報告数 0.06 (前週 0.06 前年同週 1.00) | 定点当たり報告数 0.15 (前週 0.15 前年同週 0.65) |
| 急性呼吸器感染症 (ARI) | 定点当たり報告数 32.75 (前週 33.5 前年同週 35.38) | 定点当たり報告数 44.79 (前週 45.45 前年同週 53.00) |

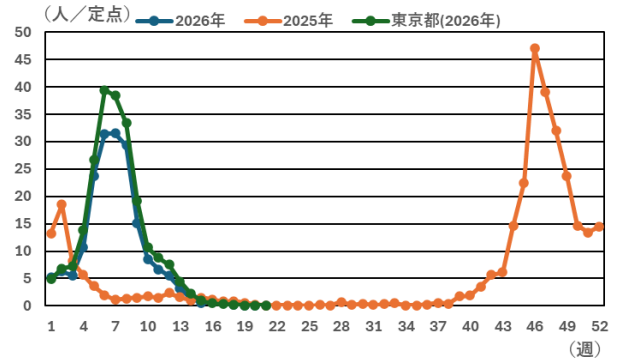
【定点把握対象疾患 推移グラフ】

週報告の定点把握対象の感染症について、定点医療機関当たりの患者報告数推移のグラフを掲載しています。

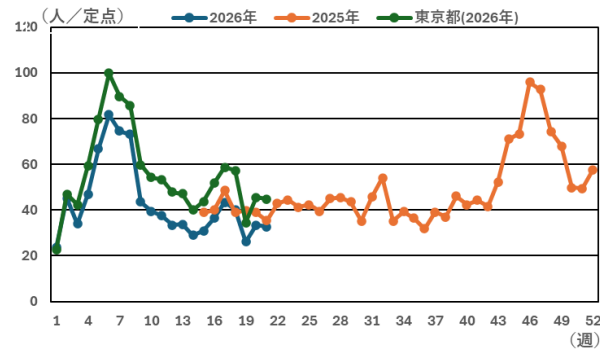
新型コロナウイルス感染症



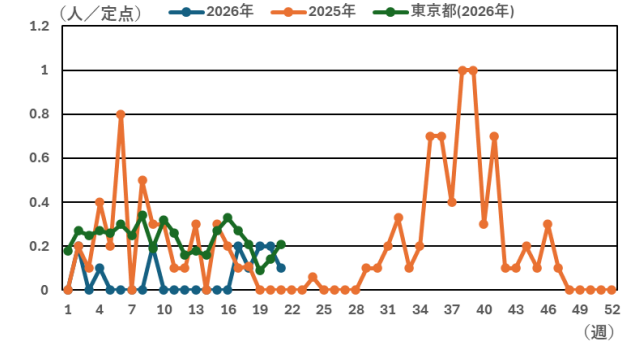
インフルエンザ



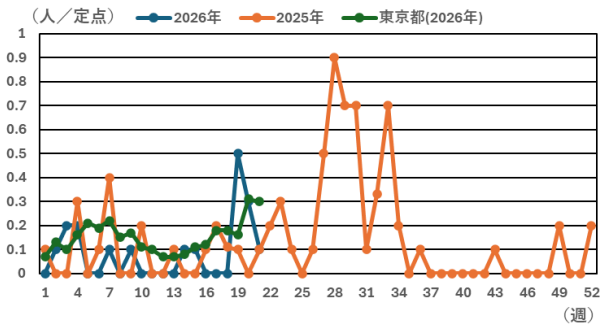
急性呼吸器感染症



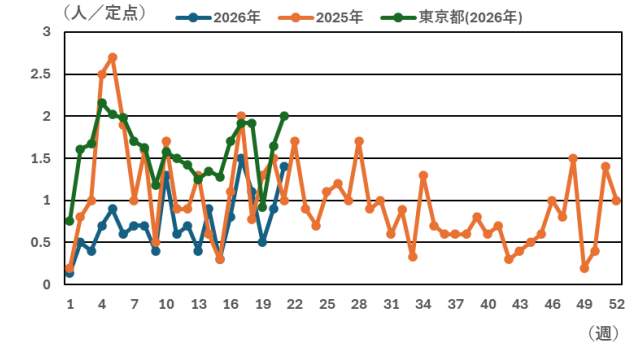
RSウイルス感染症



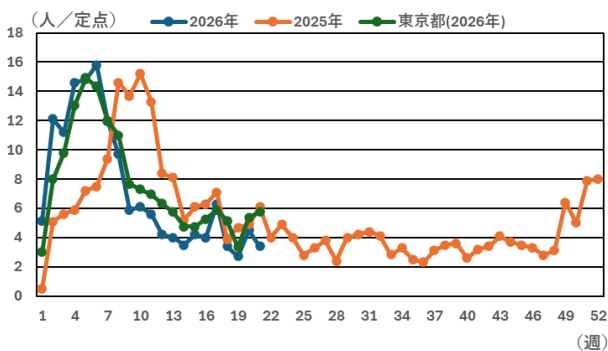
咽頭結膜熱



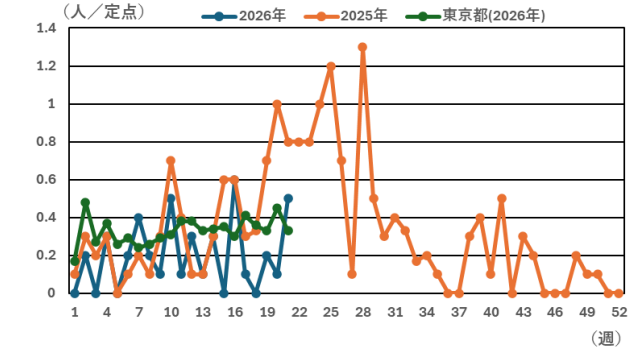
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



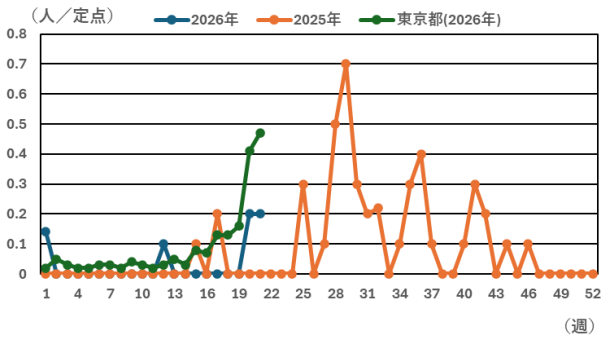
感染性胃腸炎



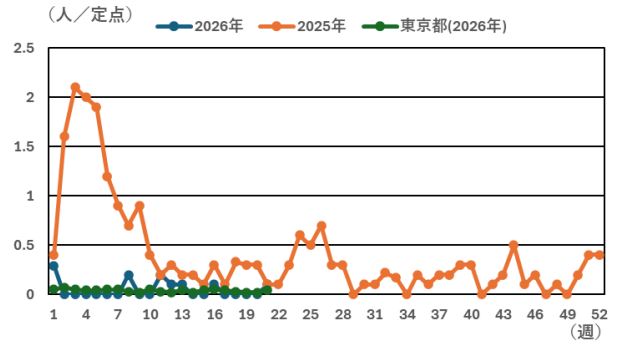
水痘



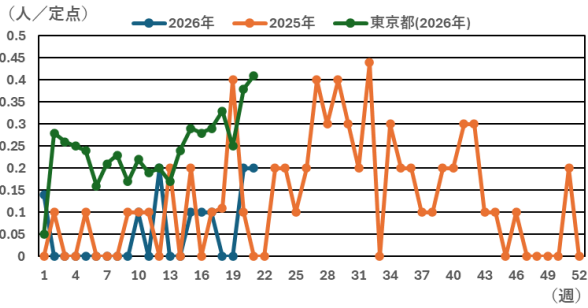
手足口病



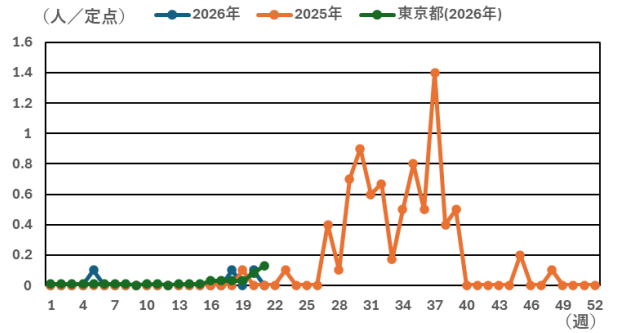
伝染性紅斑



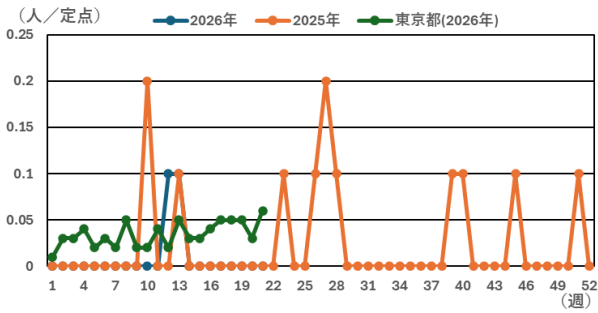
突発性発疹症



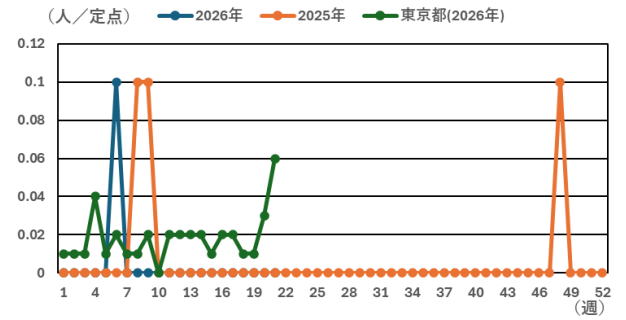
ヘルパンギーナ



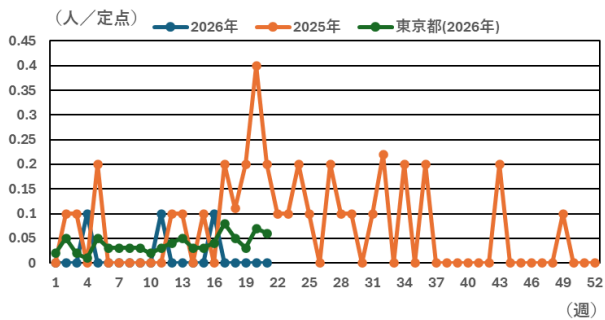
流行性耳下腺炎



川崎病



不明発しん症



【感染症集団発生状況(新規)】

今週の集団発生報告はありません。

※令和 8 年 5 月 29 日現在の情報により作成しています。

※全数把握疾患は発生届を受理した件数です。発生届は、診断した医師が最寄りの保健所（医療機関の管轄保健所）に届け出ることであります。よって、届出数は区内患者数と一致しないことがあります。

※定点あたり報告数とは、1 週間に一つの定点（医療機関）あたり何人の患者の報告があったかを表す数値です。報告数の合計÷定点観測所数＝定点あたり報告数(人/定点)です。流行状況の把握、比較をする場合に有効です。板橋区内では、小児科定点 10 か所、内科定点 6 か所、眼科定点 2 か所、性感染症定点 2 か所、基幹定点 1 か所、疑似症単独定点 2 か所が指定届出機関（定点医療機関）として指定されています。

※令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の 5 類感染症に移行しました。同日以降は本報でも定点把握疾患として掲載しています。

※令和 7 年第 15 週から定点把握対象疾患に急性呼吸器感染症（ARI）が追加されました。

板橋区保健所 予防対策課 感染症対策係